

## 第8回 教育研究評議会議事要旨

日 時 平成16年10月6日(水) 13:30~15:05  
場 所 事務局第1会議室  
出席者 18名(欠席者4名)

### 第7回 教育研究評議会議事要旨について

学長から、議事要旨(案)のとおり確認された旨報告があった。

議事に先立ち、学長及び川崎理事から、名刺を作成するソフト及びカッターを用意したので、就職及び実務訓練など職務上で名刺を必要とするときに貸与する旨説明があった。  
なお、用紙の費用は、各系で負担いただくこととした。

### 議 題

#### 1 教員の選考について

大石教授(高田 電気系長代理)、松本 環境・建設系長及び原田秀樹 教授(21世紀 COEプログラム代表者)から、資料1に基づき説明があり、審議の結果、教授会(教授)に付議することを了承した。

#### 2 教員選考委員会の設置について

大石教授(高田 電気系長代理)から、資料2に基づき説明があり、審議の結果、教授会(教授)に付議することを了承した。

#### 3 寄附講座教員(客員教授)の選考について

丸山理事から、資料3に基づき説明があり、審議の結果、次のとおり、教授会(教授)に付議することを了承した。

### 教授会審議事項〔平成16年度 第6回(第317回)教授会〕

- 1 学位論文審査付託に係る審査委員の指名について
- 2 大学以外の教育施設等における学修成果の単位認定について
- 3 平成17年度大学院進学予定者のうち「実務訓練」に替えて「課題研究」を履修する者について
- 4 単位互換協定に係る派遣学生の単位認定について  
学長から、上記の事項1から4について、資料4から7に基づき、教授会(教授、助教授及び講師)で審議される旨説明があった。

### 報 告

#### 1 教員の選考について

宮田 機械系長から、所属の系及び講座が決定した旨、資料8に基づき報告があった。

#### 2 学生数及び学生異動について

教務部長から、資料9に基づき報告があった。

なお、学長から、修士課程の一部が定員割れしているので、本学の将来計画（博士後期課程の拡充等）を勘案して、留意してほしい旨説明があった。

### 3 外部研究資金の受入状況について

総務部長から、資料 10 に基づき報告があった。

### 4 海外先進教育研究実践支援プログラム採択者について

石崎副学長から、資料 11 に基づき報告があった。

なお、学長から、他大学と比較して採択率が低いので、平成 17 年度は十分検討して申請したい旨説明があった。

### 5 ヲィヱトナム社会主義共和国・教育訓練副大臣等の来学及びヲィヱトナムー日本コンソーシアム会議について

### 6 越越協会について

石崎副学長から、上記 5 及び 6 について、資料 12 及び 12-2 に基づき報告があった。

## 7 委員会報告

### (1) 教務委員会

#### ① 大学院学生の研究指導の委託について

丸山理事から、資料 13 に基づき報告があった。

#### ② 技術者倫理教育に関するカリキュラム改定について

丸山理事から、JABEE への対応のため、現行の卒業要件総単位数を変更せずに、専門科目を 2 単位減らし、教養（総合）科目を 2 単位増やし「技術者倫理科目」を必修とすることとした旨報告があった。

## 8 その他

### (1) セクシュアル・ハラスメントの防止について

学長から、学生生活実態調査において、セクシュアル・ハラスメントに関する記述があったので、十分注意するよう要請があった。また、資料 14 に基づき、他大学の処分事例の説明と併せて、セクシュアル・ハラスメントの防止について、教授会でも周知することとした。

併せて、事務局長から、セクシュアル・ハラスメントの事実が確認された場合、免職又は停職など厳しい処分となる旨説明があった。

さらに、西澤理事から、セクシュアル・ハラスメント対策委員会で正式に調査することとなれば、世間に対して公表しなければならず、本学の名誉失墜となり、経営上の危機ともなるので、周知徹底に御協力いただきたい旨説明があった。

### (2) 国費外国人留学生（研究留学生）募集要項（大学推薦）について

石崎副学長から、資料 15 に基づき説明があった。

併せて、石崎副学長から、資料のとおり、国費外国人留学生の採用条件等が厳しくなっており、また、本学の社会人留学生特別コースも文部科学省の国費外国人留学生制度であることから、入学辞退者が出ること等がないように十分留意してほしい旨要請があった。

また、学長から、奨学生の選考について、日本人学生は「学生委員会」で決定することとし、外国人留学生は「留学生委員会」で決定するよう区分けすることとしたい旨説明があった。

**(3) 科学研究費補助金の説明会について**

学長から、本日 15 時 30 分から開催する旨報告があった。

**(4) 学生との懇談会について**

学長から、10 月 4 日（月）に、西澤理事及び丸山理事とともに、学部学生と懇談会を行った旨報告があった。

なお、学長から、当該懇談会の内容については、広報委員会を経て公表する旨併せて報告があった。

**(5) 機械安全工学寄附講座の維持について**

構成員から、来年度以降の講座の維持について要請があり、学長から科学技術振興調整費の要求など、所要の措置を講ずる旨説明があった。

**(6) 定年になる教員のうち科学研究費補助金を継続して受ける者の取扱いについて**

学長及び丸山理事から、上記について、次に該当する場合は、学長の許可を経た上で、引き続き本学で研究課題の活動をすることを認めることとした旨報告があった。

- ① 基本的には、間接経費の付く基盤研究 S 又は A に申請する者
- ② 基盤研究 B でも、単年度当り 1 千万円以上の申請をする者
- ③ 平成 18 年 3 月に定年になる者については、1 年以内なら制限を設けず、2 年なら 2 千万円以上の申請をする者

併せて、丸山理事から、名誉教授の称号を授与された者は、学長の許可を経れば、科学研究費補助金を申請できることとした旨報告があった。

また、構成員から、定年になった教員から、ボランティアで特定の授業又は研究指導等をしてもらってはどうかとの提案があり、検討することとした。

以 上